



## 1 苗の選び方

### 苗の選び方

苗には、自根苗と接木苗があります。

#### ■苗選びのポイント

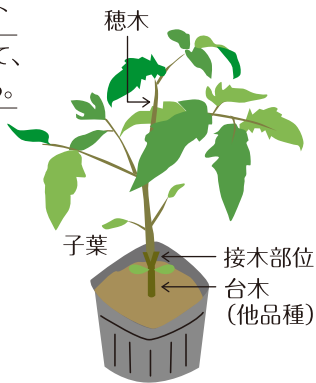
茎がしっかりしていて、節間がつまっている。

子葉がしっかりついている。

葉に病害虫がついていない。



自根苗(じこんなえ)  
種から育てた苗



接木苗(つぎきなえ)

接木苗：耐病性の高い品種を台木に用いて接木した苗。  
特長／土壌病害の影響を受けにくい。ある程度の連作が可能。  
■特に一昨年、黄化症状が栽培中に発生した畑には接木苗の植え付けを行う。

## 2 畑の準備・支柱立て

### 土作り

植え付け14日前までに「良菜健穂」、「大地」、「コフナ」をまいて、トマトは根張りがよいので深く耕しましょう。

土作り  
良菜健穂:10坪当たり 2kg  
大地:10坪当たり 3~5kg  
コフナ:10坪あたり 3~5kg

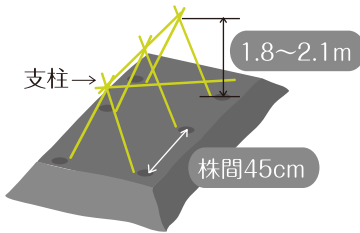
### 元肥・うね立て・マルチ張り

植え付けの7日前までに、元肥の「有機盛々」をまいて、うね立てを高く行い、地温を上げるために植え付け前にマルチをはります。

元肥  
有機盛々:10坪当たり 1.5~2kg

### 支柱立て

マルチを張ったら支柱立てを行い、斜めに支柱を入れて強度を上げましょう。



## 3 植え付け・誘引

早く植えても地温が低ければ根づかないので、第1花房が1本咲き始めた頃を植え付けの目安にします。(第1花房は通常本葉8~9枚でつきます)

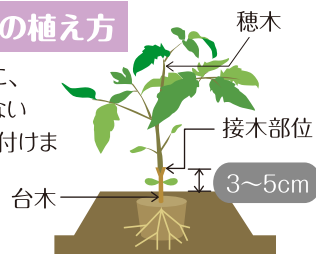
### 植え付け方

根鉢を崩さないように植え付けます。

- ①苗は深植えしない。
- ②前日、植え穴に水を入れておく。
- ③花房を通路側に向けて植え付ける。(花房は同じ方向へつく習性があるので収穫が楽になる)

### 接木苗の植え方

接木部位に、土が触れないように植え付けましょう。



### 誘引

苗を植えたなら倒れないよう支柱に誘引をします。その後も、生長に合わせて誘引を行いましょう。

茎が太くなくても支障が出ないように、ゆとりをもたせ8の字に縛って誘引をします。

## 4 わき芽かき・着果処理

### わき芽かき

本葉のつけ根から出るわき芽を摘み取りましょう。特に第1花房の下のわき芽は樹勢が強いので早めに摘み取ります。



### 着果処理(ホルモン処理)

大玉トマトの着果肥大促進、粒揃い向上などの為、ホルモン剤の処理が有効です。

ホルモン剤



### 注

#### 着果処理時の注意点

- 同じ所へは、2度がけないこと。
- 30℃以上の高温下での散布は避ける。
- 芽や幼葉へかけると萎縮するので、花のみへ散布する。

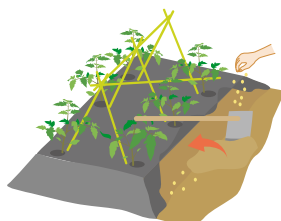
## 5 追肥

### ■第1回目追肥

(果実がゴルフボール大になった頃)マルチを上げてうねの肩部に「千代田550」をまきます。

### ■第2回目以降追肥

トマトの樹勢を観察しながら「千代田550」をまきます。



### 葉茎で見る健康診断



栄養適正

追肥必要なし

茎の太さが1~1.2cm。葉はお皿を伏せた程度の曲がり具合、葉色が濃く、毛も良く伸び、みずみずしく感じる。



栄養過剰

追肥延期

葉が内側に向かってぐるりと巻いていけば樹勢が強い証拠。葉面は凸凹ができ、葉はカールする。



栄養不足

至急追肥

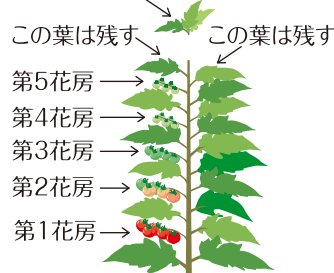
葉柄が細くて節間が間延びし、葉がパンザイするように上に向かってYの字形についている。葉色はあせ、葉が硬化し上巻き気味。

## 6 摘芯・摘果・収穫

### 第5花房で摘芯の場合

5~6段目の花房がついたら、その上の葉2枚を残して摘み取ります。

指で摘み取る



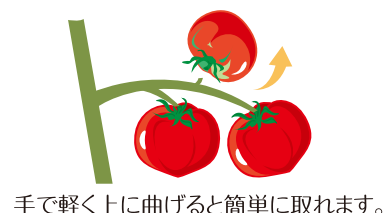
### 摘果

1つの花房につき果実を4~5玉つけ残りは摘み取ります。

生育に未熟な実を摘み取る。

### 収穫

実が十分に赤になったら収穫です。



月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
中間地				🌱	🌱	🌱	🍅	🍅	🍅			
暖地				🌱	🌱	🌱	🍅	🍅	🍅			
寒地					🌱	🌱	🍅	🍅	🍅			

🌱 種まき期  
🌱 植えつけ期  
🍅 収穫期

土いじり応援プロジェクト



無断転載禁止